

平成18年度決算の概要

1. 事業の概要

(1) 事業の経過及び成果

【高速道路事業】

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との間で締結した協定及び国土交通大臣から認可を受けた事業計画に基づき、適切な交通管理を行い、お客様に安全、安心、快適に利用していただくとともに、橋梁や道路の万全な維持管理に努めました。

(本四道路の利用状況)

- ・ 総通行台数 14百万台 (対前期比 約3.4%増)
 - ・ 料金収入 775億円 (対前期比 約4.3%増)
- ※ 前期は平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間です。

(主な道路管理の状況)

- ・ 舗装補修工事 南備讃瀬戸大橋・番の州高架橋
- ・ 耐震補強工事 神戸淡路鳴門自動車道陸上部橋梁
- ・ 長大橋塗装 大鳴門橋・瀬戸大橋・因島大橋

【関連事業】

(休憩所等事業(高速道路のサービスエリア・パーキングエリアの管理))

- ・ お客様に、より快適に、より楽しく利用していただくために、計画的に施設のリニューアルを実施しました。
- ・ 淡路サービスエリアに観覧車を誘致し、36万人余の方に利用していただきました。

(受託事業)

- ・ 長大橋の建設、管理技術を活用した海峡横断道路プロジェクトの技術検討や平戸大橋のケーブル送気システム設計等を実施しました。
- ・ 平成18年4月下旬に供用開始した一般国道317号生口島道路、大島道路の道路清掃作業、交通管理業務等を実施しました。
- ・ 上記のほか国、地方公共団体、他の高速道路会社等から関連する道路の新築、改築、維持修繕等を受託し、実施しました。
- ・ 機構から本四淡路線・本四備讃線(鉄道)の管理を受託し、実施しました。

(2) 今後の営業方針

【高速道路事業】

(200年以上にわたり利用していただくための道路管理)

- ・ 代替路線のない本四道路の安全性を高めるため、重点的に耐震補強を実施します。
- ・ 海峡部長大橋の予防保全のため、適時適切な点検と補修を行ってまいります。

(お客様のニーズに応えるサービス)

- ・ 安全で快適な交通流の確保のため交通管理に万全を尽くします。
- ・ ETC設備等の充実、ETCを活用した企画割引、多様な料金割引策の導入、積極的な広報活動などにより、多くの方々に本四道路を利用していただけよう努力してまいります。
- ・ 地元自治体や観光関係の皆様などとの緊密な情報交換、インターネットを利用した顧客満足度調査、ご意見・お問い合わせの分析などにより、ニーズの把握に努めてまいります。

【関連事業】

(休憩所等事業)

- ・ 瀬戸内の自然・景観を満喫できる快適な空間の形成や、地元の産物を活かした食事・土産など、お客様に喜ばれるサービスの提供に努めます。

(受託事業)

- ・ 長大橋の建設、管理技術を活用した国内外の架橋プロジェクトへの技術支援を拡大してまいります。

2. 決算の概要

(1) 貸借対照表

①資産の状況

資産の総額は40,115百万円であり、このうち流動資産は18,314百万円、固定資産は21,800百万円となっております。固定資産の主なものは、高速道路事業固定資産9,048百万円、関連事業固定資産6,314百万円、各事業共用固定資産5,482百万円となっております。

②負債及び純資産の状況

負債の総額は29,925百万円であり、このうち流動負債は11,188百万円、固定負債は18,737百万円となっております。負債の主なものは、機構へ引渡す仕掛道路資産分の借入金1,850百万円のほか、その他の借入金3,752百万円となっております。

純資産の総額は10,189百万円であり、国及び地方公共団体からの資本金4,000百万円、資本剰余金4,000百万円、利益剰余金2,189百万円となっております。

(2) 損益計算書

当社の損益計算では、高速道路事業営業損益と関連事業営業損益に区分し、表示しております。

①高速道路事業営業損益

高速道路事業では、料金収入、機構へ引き渡した資産の売上である道路資産完成高などの営業収益78,746百万円に対し、道路資産賃借料、道路資産完成原価、道路の管理費用の営業費用が76,388百万円となり、営業利益は2,358百万円を計上しております。

②関連事業営業損益

関連事業では、休憩所等事業の利益が85百万円、その他受託事業の利益が51百万円となり、関連事業全体では営業利益136百万円を計上しております。
なお、鉄道管理受託業務については、収益と費用が同額であり、損益は発生しない仕組みとなっております。

高速道路事業と関連事業を合わせた全事業営業利益は、2,495百万円となり、これに営業外収益165百万円を加え、営業外費用120百万円を控除した経常利益は、2,540百万円となりました。さらに、不要となった建物等の除却により計上した特別損失230百万円、法人税等1,087百万円を控除した当期純利益は、1,221百万円となりました。

(参 考)

平成18年度連結決算の概要

当社の連結決算は、会社法や証券取引法に基づき作成したものではなく、情報開示等の目的で、任意に作成したものです。

1. 連結対象

次の子会社2社を連結対象としております。

会 社 名	主 要 な 事 業 内 容
JBハイウェイサービス株式会社 株式会社ブリッジ・エンジニアリング	休憩所等事業、料金收受管理、交通管理 点検管理、長大橋維持修繕

2. 連結決算の概要

(1) 連結貸借対照表

資産の総額は44,676百万円であり、このうち流動資産は19,624百万円、固定資産は25,052百万円となっております。

負債の総額は34,097百万円であり、このうち流動負債は12,526百万円、固定負債は21,570百万円となっております。

純資産の総額は10,579百万円であり、国及び地方公共団体からの資本金4,000百万円、資本剰余金4,000百万円、利益剰余金2,367百万円となっております。

(2) 連結損益計算書

営業収益は81,348百万円、営業費用は78,806百万円、営業利益は2,541百万円となっております。これに営業外収益355百万円を加え、営業外費用133百万円を控除した経常利益は、2,763百万円となりました。

さらに、特別利益109百万円を加え、特別損失230百万円、法人税等1,242百万円を控除した当期純利益は、1,398百万円となりました。